



# 拓け！自らの可能性

～社会参加に向けて～

進路だより 第2号

令和6年9月27日発行

だて支援学校キャリア支援部

## 第12回特別支援学校作業技能大会

7月31日(水)に第12回特別支援学校作業技能大会がビックパレットふくしまで開催されました。会場には福島県内にある特別支援学校19校の生徒や教員、保護者だけでなく企業の方など1,000人近い人が来場し、日常では味わうことができない緊張感の中、日頃の学習の成果を競い合いました。本校からはビルクリーニング部門、喫茶接客サービス部門、作業製品品評部門、プレゼン部門に9名の生徒が出場し、日頃の努力の成果を存分に発揮しました。

高等部3年 T.Y

私は作業技能大会においてビルクリーニング部門に出場しました。1年生のときに、テーブルクロス部門に出場しましたが、今年はフルエントリーに挑戦しました。とても緊張しましたが、お母さんが応援に来てくれたので嬉しくて、頑張った成果を見てもらいたいと思いました。

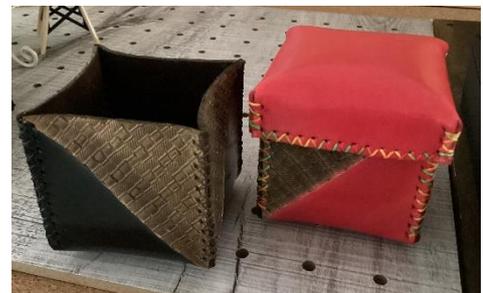
私が検定種目の中で一番不安だったのは、水モップです。実際に競技しているときには、「拭き残しちゃった。」と焦りましたが、最後までやり抜くことができました。競技を終えると、スッキリした気持ちになりました。

最初は全く上手くできなかったけど、新たな挑戦する機会をもらい、1級をとることができ、挑戦してよかったと思いました。

### 祝 作業技能大会受賞



<革工製品部門>  
最優秀品質賞「一期一会ケース」



<革工製品部門>  
銀賞「革いいBox」

高等部3年 K.K

私は高校生活の集大成として、3年生になって初めて作業技能大会の喫茶接客サービス部門に挑戦しました。1年生の校内実習で学んだ経験を活かしたいと思いました。

夏休みに入り、本格的な練習がはじまり、暑い日が続いて、大変でしたが休まず参加できました。最初は忘れていることが多く、担当の先生方からたくさんアドバイスをいただきました。そのおかげで言葉使いや動きなどが徐々に良くなってきたと思います。

大会当日は、他校の生徒さんの発表を見ている間不安と緊張でいっぱいでした。自分の順番になってさらに気持ちが高まりましたが、「練習通り、平常心」と心を整えながらのぞみました。その結果、一度もミスすることなく検定を終えることができました。終わったときは緊張がとけて安心しました。

今回、大会に出場してよい経験となったし、うれしかったです。ご指導いただいた先生方、本当にありがとうございました。



<手工芸製品部門>  
「花だ！まあ good ネット」

私は作業技能大会で品評部門のプレゼンテーションに参加しました。自分達が作ったすてきな製品をみなさんにアピールするために、夏休みは一生懸命練習してきました。始めは声も小さく、スムーズにセリフと動きがつながりませんでした。発表当日は練習の甲斐もあって、自分としては一番よい発表ができたと思います。発表順が最初だったこともあり緊張で胸が一杯になり、始まるまでの時間がとても長く感じました。今思い返すと練習の時からみんなと協力し、本番では上手く発表することができたのでとても嬉しく思います。私にとってこの作業技能大会は、この夏一番の思い出になりました。

私は、初めてプレゼンテーション部門に出場しました。去年はビルクリーニング部門だったので新しい挑戦でした。特に夏休みの練習の中で努力したことは、名刺入れの発表の演技です。名刺交換の時に、細かい手の動きや声の大きさを注意して行いました。当日はたくさんの人やテレビ局の取材が来ていて、不安でしたが背中を押してもらい、練習の成果を出せてよかったです。作業製品品評部門の結果は名刺入れが最優秀品質賞をもらいました。江田先生から「あの演技のおかげでもらえたんじゃない？」と言われて、とても嬉しい気持ちになりました。3年生最後の技能大会でしたが、家族も応援にきてくれて、とてもいい思い出になりました。



<ビルクリーニング部門>



<喫茶接客サービス部門>



<プレゼンテーション>

## 中学部 作業学習紹介

中学部の作業学習について紹介します。

中学部の作業学習では木材加工、紙工芸、農園芸、清掃の活動に取り組んでいます。

木材加工では、道具の扱いに慣れること、丁寧に取り組むことなどをめあてにして、1学期はフラワースタンドの製作を行いました。自分たちがやすりをかけたもの、組み立てたものが製品になることで意欲が高まっています。紙工芸では、牛乳パックを再利用した油とり紙「あぶら ZERO」の製作を行いました。フィルムをはがして紙をちぎる、ミキサーを使って攪拌するなど、それぞれの役割を意識し、真剣に取り組んでいます。農園芸では、トマト、なす、ピーマン、さつまいもを植えました。2学期は、秋野菜を植えたり、さつまいもを収穫したりします。また、2学期は校内実習や、「だてっこみらいフェスティバル」での販売などがあり、力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。



## 福祉施設等事業所見学会

7月30日(火)に、12名で「NPO法人天使の唄 就労継続支援 A型事業所桑の実」と「社会福祉法人つばさ福祉会 生活介護事業所カラーの夢」の見学視察を行いました。子どもたちの学校卒業後の進路に関心をもち、障がいのある方々の福祉的就労や日中活動の場の現状について理解を深める機会となりました。



「生徒たちの将来を考える」

中学部 武田 吉英

今回の教員対象事業所見学では、「生活介護事業所カラーの夢」と「就労継続支援 A型事業所桑の実」の2か所の見学視察を行ってきました。カラーの夢さんは、昨年の10月にオープンしたばかりの新しい施設でした。利用者への配慮や、障がいの多様性に対応すべく、様々な取り組みを行っていることや、施設名の由来についても詳しく説明をいただきました。また、桑の実さんでは、カフェ事業を中心に野菜加工、ケーキ作り、弁当作りなども行っており、大変好評を得ているようでした。一通りの説明を受けた後に、カフェでの美味しい食事をいただきました。一般のお客さんもたくさんお見えになっていました。

どちらの福祉事業所でも、利用者の方々は生き生きと仕事や活動に取り組まれていました。私たちはこれからも、本校の児童生徒の将来を考えていきたいと思えます。

## 保護者進路研修会

キャリア支援部 江田綾

PTAとの連携事業で7月19日(金)第1回保護者進路研修会を行いました。伊達市健康福祉部社会福祉課障がい福祉係から3名の方に講師としてお話をさせていただきました。

内容は、以下の3点でした。

- ①福祉サービスの種別について
- ②伊達市・伊達郡の福祉サービス事業所について
- ③福祉サービス契約までの流れについて

質疑応答では、複数の質問が上がり、それについても丁寧な返答を頂きました。

また、今年度8月に、伊達市自立支援協議会の就労支援部会で実施された「事業所のオープン見学会」についても話題になり、継続した実施を期待する意見が出ていました。

11月6日(水)には第2回保護者進路研修会を予定していますので、ぜひ御参加ください。



## 10月～12月 今後の予定について

期日	行事名等	内容	対象学部
10月4日(金)	進路座談会	高等部現場実習のビデオ視聴と先輩保護者との意見交換	全学部希望保護者
11月6日(水)	現場実習 保護者報告会	後期現場実習のビデオ視聴と今後の流れの説明等	高等部保護者
	第2回保護者 進路研修会	障がい者雇用を推進している企業の担当者による講演	全学部希望保護者
後期現場実習以降	進路希望確認	進路に関する最終希望確認	高等部3年
12月17日(火)	年金セミナー	年金事務所担当者による障がい年金についての説明	高等部3年 全学部希望保護者